

平成 19 年度 甲州東海ブロック精神障害者就業セミナー静岡大会

● 精神障害をもつ人のさらなる雇用促進をめざして ●  
～支援があれば働ける～

大会趣旨：

平成 17 年の障害者雇用促進法の改正により精神障害者が法定雇用率にカウントされるようになったこともあり、全国的に精神障害者の雇用が増えつつあります。しかし、まだまだ就業する人は精神疾患をもつ全体の数からみて一握りでしかありません。今回の大会では、「精神障害をもつ人のさらなる雇用促進をめざして～支援があれば働ける～」をテーマに、企業や福祉施設、ハローワークなど様々な機関・事業所の取り組みを紹介し、精神障害をもつ人のさらなる雇用促進のためにどうしたらよいかを皆さんと一緒に検討していきたいと思えます。

と き 平成 20 年 2 月 16 日（土）9：30～18：00（受付 9：00～、交流懇談会 18：30～）

ところ アクトシティ浜松コンgresセンター 31 会議室他  
静岡県浜松市中区板屋町 111-1 TEL053-451-1111

主 催 NPO 法人全国精神障害者就労支援事業所連合会  
平成 19 年度甲州東海ブロックセミナー実行委員会

後 援 静岡労働局（ハローワーク）、（社）静岡県障害者雇用促進協会、静岡県、  
浜松市、（社）静岡県精神保健福祉会連合、脳外傷友の会「しずおか」、  
静岡県精神障害者社会復帰施設連絡協議会、日本てんかん協会静岡県支部、  
静岡県精神保健協会

参加対象者 企業担当者、精神障害者社会復帰施設・障害福祉サービス事業所・地域生活  
支援事業所・共同作業所等の職員、当事者、家族、行政関係職員、ボランティア、  
学生、一般市民など

プログラム

9:00～9:30	受 付 ( 3 階 )	
9:30～9:50	開会式 主催者あいさつ NPO 法人全国職親会就労支援事業所連合会 来賓あいさつ	31 会議室
9:50～10:50	基調講演 「精神障害を持つ人の雇用機会の拡大を目指して」 厚生労働省障害者雇用対策課障害者雇用専門官 市川浩樹	31 会議室
11:00～12 : 00	基調講演 「こころをひらく、社会をひらく」 増原彬陽 (人業劇団ひらき座 脚本兼演出家)	31 会議室
12:00～13:00	昼 食	
13:00～15:10	<p>第 1 分科会「企業での精神障害者雇用の取り組み」</p> <p>精神障害者の就職希望者が急増し、精神障害者を雇用する企業が増えています。今後の障害者雇用において精神障害者雇用を視野に入れていくことが企業に求められています。精神障害を持つ方の特性をどのように活かし、企業の戦力として活用しているのか。静岡県内で精神障害者雇用に積極的に取り組む企業の現状報告と課題を整理し、また現場で働く当事者の声を交え、企業側と当事者の双方の立場から、企業での精神障害者雇用を広げていく道を検証していく予定です。</p> <p>司 会 : 鈴木厚志 (京丸園 (株) 代表取締役、しずおかユニバーサル園芸事務局) 助言者 : 城田 文晴 (富士ソフト企画株式会社 代表取締役社長) パネラー : 小澤 勇夫 (株式会社 知久 総務部) 小野 辰衛 (株式東武 浜松医科大学事業所所長) 安間 清弘 (株式会社 スズキ・サポート 人事部) 徳井 厚夫 (株式会社 ゆめ市 代表取締役専務) 当事者 2 名 (予定)</p>	
	<p>第 2 分科会「就労支援機関の取り組み」</p> <p>精神障害者の就労支援では、「訓練、仕事へつなげる (仕事とのマッチング)、定着支援 (就業支援・生活支援)」が重要と言われます。精神障害者の就労支援に積極的に取り組む静岡県内の施設・事業所の現状報告と課題を整理し、上記のポイントから福祉事業所の立場より精神障害者雇用を広げていく道を検証していく予定です。</p> <p>司 会 : 松本多加弘 (多機能事業所ポコアポコ 就労移行・就労継続 B 型 サービス管理責任者) 助言者 : 上野 一郎 (障害福祉サービス事業所どんでんどん 管理者) パネラー : 海野洋一郎 (多機能事業所ライム 就労移行支援・継続 B 型 就労支援員) 黒田 明広 (授産施設 暁 精神保健福祉士) 鈴木 康一 (サポートセンターなかせ 精神保健福祉士) 井上 佳子 (多機能事業所ナルド工房 就労移行・就労継続 B 型 移行支援員)</p>	

	<p>第3分科会「高次脳機能障害者への就労支援」</p> <p>高次脳機能障害をもつ人からの相談・支援に関わることが増えてきました。しかし就労支援となるとまだまだ難しいのが現状です。就労支援に必要なスタッフの役割とは？その中の Key Person は？地域で支援する場合の障害となる要因は？雇用主の理解を高めるためには？これからの支援でまず必要なことは？……。静岡県内の高次脳機能障害者への就労支援の取り組みの現状報告と課題を整理し、高次脳機能障害者の就労支援を広げていく道を検証していく予定です。</p> <p>司会：片桐 伯真（聖隷三方原病院 リハビリテーション科 医師）  助言者：鈴木 真（三重県身体障害者総合福祉センター  支援コーディネーター）</p> <p>パネラー：秋山 尚也（聖隷浜松病院 リハビリテーション部 作業療法士）  坂口 英夫（くぬぎの里 支援コーディネーター）  山本 忠広（NPO 法人サポートセンターそら 理事長）  和田 里美（就業・生活支援センターだんだん 生活支援員）  加藤 幸子（静岡障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー）</p> <p>指定発言：植田しずえ（脳外傷友の会「しずおか」 副代表）</p>
15:10～15:20	休憩:移動
15:20～17:50	<p>全体シンポジウム「精神障害者の雇用を広げるために」 <span style="float: right;">31 会議室</span></p> <p>前段の分科会では、精神障害を持つ人たちや近年大きな課題となっている高次脳機能障害を有する人たちの就労支援のあり方について、それぞれの御立場の専門家による活発な議論がなされる予定です。全体シンポジウムではこれらの議論を受け、改めて新しい時代の障害者雇用のあり方や支援について意見交換を行っていただきます。そして、ご来場いただいている皆様には“どうすれば障害者雇用が進むか”を超えて、“なぜ今障害者雇用が求められるのか”までお考え頂く機会になればと願っております。</p> <p>司会：秦 政（株式会社アドバンテッジリスクマネジメント 顧問）  パネラー：城田 文晴（富士ソフト企画株式会社 代表取締役社長）  上野 一郎（障害福祉サービス事業所どんでんどん 管理者）  鈴木 真（三重県身体障害者総合福祉センター  支援コーディネーター）  鈴木 忍（浜松公共職業安定所 就職促進指導官）</p>
17:50～18:00	閉会式
18:30～20:00	<p>交流懇談会（※事前申込みが必要です） <span style="float: right;">53 会議室</span></p>

## 会場地図 アクトシティ浜松コングレスセンター



静岡県浜松市中区板屋町 111-1 ☎053-451-1111 FAX053-451-1123

- 車でお越しの方 名古屋方面から・・・ 東名高速浜松西IC より 40 分  
東京方面から・・・ 東名高速浜松IC より 30 分

駐車場あり(アクトシティ駐車場) 料金 100 円/20 分

- 電車でお越しの方 在来線・新幹線とも JR浜松駅をご利用下さい。

JR浜松駅からは徒歩で5～10分程です。

◎宿泊に関して・・・浜松市観光案内所（浜松駅構内 1 階 ☎053-452-1634 / Fax053-452-1634）にお問合せ下さい。浜松駅周辺にはホテルが多数あります。事務局での宿泊の斡旋はしませんので御了承下さい。

◎申込締切・・・・・・・・・・2月2日（土）までに事務局宛に申込下さい。

問い合わせ先

事務局：障害者就業・生活支援センターだんだん 担当：伊藤、和田、岩月

〒433-8101 浜松市北区三幸町 201-4

☎053-420-2466 Fax053-420-2467

e-mail : [dandan-psy@muc.biglobe.ne.jp](mailto:dandan-psy@muc.biglobe.ne.jp)

